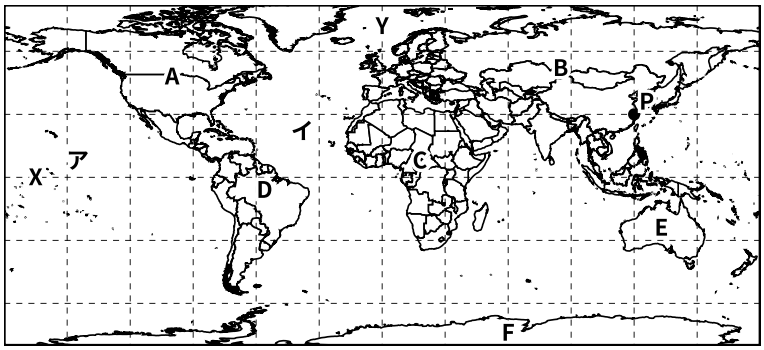
基本 地図で確かめる

下の地図の点線は、緯線と経線を30度ごとに引いたものである。Xは緯度0度の緯線、Yは経度0度の経線である。



(1) 最も面積が大きい大陸を、地図中のA～Fから一つ選び、その大陸名も書きなさい。

答

(2) 最も面積が小さい大陸を、地図中のA～Fから一つ選び、その大陸名も書きなさい。

答

(3) 地図中のアは、世界で最も大きい海洋である。この海洋を何というか。

答

(4) Xの緯線を何というか。

答

(5) Yの経線を何というか。

答

(6) 地点Pの緯度と経度を答えなさい。

答

基本 世界の国々と時差

次の問いに答えなさい。

(1) 地球上にある六つの大きな陸地をまとめて何というか。

答

(2) 地球上にある三つの大きな海洋をまとめて何というか。

答

(3) モンゴルやスイスのように、海に面していない国を何というか。

答

(4) 緯線と経線が直角に交わり、昔から航海図に使われてきた地図の図法を何というか。

答

(5) 図の中心からの距離と方位が正しく、航空図に使われる地図の図法を何というか。

答

(6) 国ごとに決めている、時刻の基準となる経線を何というか。

答

(7) 日本の時刻の基準となる経線が通る、兵庫県の市はどこか。

答

(8) ほぼ180度の経線にそって引かれ、ここをこえると日付を変える線を何というか。

答

解答（答えと短い解き方）

時差 基礎① 緯度・経度と大陸・海洋

基本　地図で確かめる

(1) B、ユーラシア大陸

ユーラシア大陸は、ヨーロッパ州とアジア州にまたがる。

(2) E、オーストラリア大陸

1つの大陸が1つの国になっている。

(3) 太平洋

日本の東に広がる海洋。地図の右はしにもつながっている。イは大西洋。

(4) 赤道

緯度0度の緯線。地球を北半球と南半球に分ける。

(5) 本初子午線

イギリスのロンドン（旧グリニッジ天文台）を通る経度0度の経線。

(6) 北緯30度・東経120度

Xより北なので北緯、Yより東へ4本目の経線なので東経120度。

基本　世界の国々と時差

(1) 六大陸

ユーラシア・アフリカ・北アメリカ・南アメリカ・オーストラリア・南極の六つ。

(2) 三大洋

太平洋・大西洋・インド洋の三つ。最も大きいのは太平洋。

(3) 内陸国

ほかにボリビア（南アメリカ州）なども内陸国。

(4) メルカトル図法

緯度が高いほど、面積が実際より大きく表される。

(5) 正距方位図法

中心と目的地を結ぶ直線が、最短のコースになる。

(6) 標準時子午線

その経線の真上に太陽が来るときを正午とする時刻を、その国の標準時にする。

(7) 明石市

東経135度の経線が通る。明石市には、この線上に天文科学館がある。

(8) 日付変更線

陸地や国の中を通らないように曲がっている。